

第2章 分野別人権問題

① 同和問題

市では、部落差別の解消に向け、同和問題の歴史的経緯を正しく理解するとともに、差別の現状について認識を深め、部落差別のない社会を実現するため、家庭、学校、地域、企業等で人権同和教育と啓発活動等の充実、強化をしています。

令和元年6月17日（月）戸倉人権はつらつセンターで部落解放同盟千曲市協議会と担当課により「部落解放・人権政策確立に向けた懇談会」を開催しました。部落差別問題の現状を共有し、問題解決に向けての取り組みなどの意見交換をしました。

令和元年6月29日（土）～7月21日（日）まで県人権啓発センターで企画展「近現代における部落差別問題」を県が主催、市が共催して開催しました。

企画展にあわせた学習会では『「部落差別は今どうなっているのか」～解放令から150年の歴史をふり振り返りながら～』と題し、一般財団法人 信州農村開発史研究所 所長 斎藤洋一さんの講演会があり、古文書の読み解きも含めた学びの中で、部落差別問題の歴史と理解を深めました。

また、パネルや部落差別に関するさまざまな資料の展示、DVD上映等を行い、延べ217の方が来場し、改めて部落差別問題への関心と理解を高める場となりました。



▲R1 6/30 企画展にあわせた学習会



▲R1. 6/29～7/21
企画展「近現代における部落差別問題」

令和2年2月2日（日）人権ふれあいセンターで「千曲市人権のまちづくりに向けた学習会」を開催しました。行政・教育関係者のほか市議会議員、人権擁護委員等々74名あまりのさまざまな立場の市民の皆さんが参加し、部落差別問題を学ぶことができました。



【学習内容】

- 「埴生中学校3年生のみなさんに部落差別と当事者の思いを語ったら…」

講師 部落解放同盟千曲市協議会 役員

- 講演 「部落教育がめざしてきたもの・人権教育がめざすもの」

講師 長野県同和教育推進協議会
事務局次長 江村智晴さん



▲R2. 2/2 千曲市人権のまちづくりに向けた学習会

② 障がいのある人の人権に関する問題

障がいの有無に係わらず、住み慣れた地域でお互いが尊重しあい、地域で共に生きる社会の実現に向けて市では「障害者基本法」、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」等に基づき、各種啓発活動を実施し障がいについての正しい理解と認識を深めています。

また、社会参加を容易にするため、公共施設のバリアフリー化など環境づくりにも努めています。

【啓発活動事業】

障がいのある方が地域の中で安心して生活を送ることができるように地域内課題を抽出し、地域の体制整備等を検討している「千曲・坂城地域自立支援協議会」を通じて、市民の皆さんへの障がいの理解を深めるために「全体会」を開催しています。

全体会では、障がいのある方の演奏発表や、障がい福祉関係の事業所の紹介、講演会などを行いました。

障害者基本法では、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し、「共生社会」の理念の普及を図るために、「障害者週間」を定めています。

この期間を活用して、地域の皆さんが障がいのある方の福祉に関心と理解を深められるように、市報、ホームページへ関連記事を掲載しました。

障害者週間ポスター ▶



【障がい者の虐待防止事業】

障害者虐待防止法に基づき「障がい者虐待防止センター」を設置しています。虐待における相談体制を確保して、相談内容に基づく虐待事案への対応等を実施しています。虐待の未然防止のためにホームページ等を活用して啓発活動に努めるとともに、虐待発生事案等に対しては、事実確認調査等を実施するとともに、その後の支援について関係機関と連携を密にして調査・研究・検討を進めています。(令和元年度相談対応件数 3件)

【障がい者差別の解消事業】

障害者差別解消法は、障がいのある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目指しており、国、県、市町村や会社、お店の事業者が、障がいのある人に対して、正当な理由なく、障がいを理由として差別することを禁止しています。この法律に基づき市では「職員への対応要領」を策定し、法の目的を踏まえながら適切な事務・事業が遂行できるよう研修会を実施しながら体制確保に努めています。

【福祉就労の場の確保】

令和2年3月31日現在、市内での就労系の障害福祉サービス事業所は15箇所です。関連する障害福祉計画に基づきながら、「千曲・坂城地域自立支援協議会」を通じて、体制確保等の検討も進めています。

③ 子どもの人権に関する問題

子どもの人権については、いじめや虐待・体罰など、また、身体的・精神的な危害や、子どもの主体性を抑えてしまう過度な保護や管理、インターネットなどでの情報の氾濫など、健全な育成を妨げる環境が子どもを取り巻いています。

市の家庭児童相談室では家庭相談員2名を配置して、家庭における適切な児童養育について相談支援を行っています。平成31年4月には家庭児童相談室を核として相談支援体制の強化を行い、こども家庭総合支援拠点を設置しました。

この拠点では、子どもの虐待の発生を予防するために、関係機関と連携しながら、地域における子育て支援の様々なサービスを活用し、適切な支援に結び付けていきます。

「千曲市虐待防止ネットワーク会議 要保護児童等対策部会」では、虐待を受けている子どもをはじめとする支援対象児童等の早期発見や適切な保護を行うために、児童相談所、保育園、学校、警察署など22の構成機関等がその子ども等に関する情報や考え方を共有しながら、適切な連携のもとで支援を行っています。

令和元年度は部会として、代表者会議（1回）、実務担当者会議（3回）、個別ケース検討会議（69回）を開催しました。

また、令和元年の児童虐待に係わる相談対応件数は延べ4,365件でした。

総合教育センターでは、教育相談、いじめや不登校などの相談を受けるとともに、他の教育相談機関との連絡調整を行なっています。いじめ等の子どもの人権問題に対応するため、専用電話により令和元年度は22件の相談を受付しました。

併せて屋代中・戸倉上山田中・更埴西中・埴生中にスクールカウンセラーを配置し、相談業務を実施しました。

相談内容が年々複雑多様化する中で、業務の重要性が増しています。

市少年育成センターでは30名の市民が補導委員を務め、駅や子どもたちが立ち寄りそうな場所を定期的に巡回し、ひと声かけ、注意、助言、指導の活動により、少年非行の未然防止につながっています。

令和元年度は、通常の街頭補導のほかにお祭りなどのイベントでも巡回し、実施回数は165回余、延べ573人の活動となりました。



◀夏祭り・花火大会巡回補導活動

4月11日（木）に長野県青少年育成県民会議がすすめる「信州あいさつ運動」の啓発活動を上山田小学校で行いました。

この運動は、家庭や地域でお互いにあいさつすることでみんながつながり、地域を元気にして、地域ぐるみで子どもの育ちを応援することを目的としています。

学校でも PTA 等と協働して、登下校の際の「子どもを見守る地域住民」や「千曲市地域で子どもの安全を守る会」などと連携強化を図っています。



▲H31. 4/11 信州あいさつ運動（上山田小学校）

④女性の人権に関する問題

市では、地域社会・家庭・職場などにおいて、性別による固定的役割分担意識の是正ができるよう啓発活動を推進しています。

令和元年度は、昨年に引き続き「男女共同参画セミナー」を4回開催し、延べ482名の市民の方が参加されました。女性の人権を守ることは男女共同参画社会の実現につながることで、固定的な性別役割分担意識等の女性に対する偏見をなくすことで女性の人権が守られるということなどを学びました。

また、人権意識の向上と男女共同参画社会の形成の促進に向け、市民が主体となって事業を実施する「男女共同参画社会づくりのための講座」や、市内の男女共同参画団体等が主催する事業等に市が共催するなど、団体活動への積極的なバックアップをしました。

平成19年度より千曲市男女共同参画推進連絡協議会の活動の柱であった「平和のつどい」は、平成30年度から「千曲市協働事業提案制度採択事業」となり、「つどい」と「映画会」を2日間に分けて開催し、延べ570名の市民が参加しました。この催しをとおして、平和を守ることが人権尊重につながるということを伝えることができました。



▲R1. 6/15 男女共同参画セミナー（更埴文化会館）



▲R2. 2/9 男女共同参画セミナー（ふれあい情報館）

◆令和元年度 男女共同参画セミナー等実績

事業	内 容
男女共同参画セミナー (全5回)	<p>●第1回 6月15日(土) カラーセラピー講座 演題:「色で分かる心からのメッセージ～あなたの気になる色はなんですか?～」 講師:カラーアナリスト・セラピスト 中村 奈美さん 参加者 46名</p> <p>●第2回 9月28日(土) 働き方改革講演会 演題:「私にとっての会社・仕事・家族」 講師:元東レ役員 佐々木 常夫さん 参加者 50名</p> <p>●第3回 ※令和元年東日本台風災害により中止</p> <p>●第4回 1月18日(土) 演題:「女性も男性も いきいきと生きられる社会に」 講師:ジャーナリスト・元厚生労働大臣 小宮山 洋子さん ※人権を守る市民集会と兼ねる 参加者 350名</p> <p>●第5回 2月9日(土) 演題:「きょういくは家庭(食卓)から」～食を通じて育む「おもいやりの心」～ 講師:NPO法人元気お届け隊 長浦 とし子さん 参加者 36名</p>
千曲市男女共同参画推進連絡協議会 (男女共同参画セミナー)	<p>●5月13日(月) 講演:「長野県の女性を取り巻く状況」 講師:長野県女性活躍推進監兼男女共同参画センター所長 酒井 裕子さん 参加者 50名</p>
男女共同参画社会づくり講座(市共催)	<p>●11月20日(水) 演題:「病み棄ての戻り道」 講師:ハンセン病元患者、長野大学客員教授 伊波 敏男さん 参加者 60名</p>



▲R1. 5/13 千曲市男女共同参画推進連絡協議会
男女共同参画セミナー（旧戸倉庁舎会議室）

▲R1. 11/20 男女共同参画社会づくり講座
（千曲市役所）

男女共同参画セミナー等に参加した人のアンケートから（抜粋）

- ・色と心のつながりについての話を聞いて、色から自分の気持ちを知って新しい発見ができとてもよかった。（6/15 セミナー参加者）
- ・大変わかりやすく、具体的なお話で、仕事と家庭でいかに豊かな交流をして人間的に成長するかということを学びました。（9/28 セミナー参加者）
- ・長時間労働の改善や生産性の向上に管理職として取り組んだ経験談を聞いて、自分のライフスタイルを改めて考える機会となりました。
（9/28 セミナー参加者）
- ・思いやりの気持ち、地域での共育、食育の大切さがわかり大変よかった。
（2/9 セミナー参加者）
- ・県の女性を取り巻く現状をお聞きして、私も頑張らなければいけないと感じました。
（5/13 千曲市男女共同参画推進連絡協議会 男女共同参画セミナー参加者）
- ・ハンセン病元患者の経験によるお話は心が痛くなりました。人権尊重の大切さを改めて学びました。（11/20 男女共同参画社会づくり講座参加者）
- ・戦争の恐ろしさを知ったこと、今ある暮らしが平和につながっていることがとてもよくわかりました。（7/20 平和のつどい参加者）

等々

事業	内容
千曲市協働事業提案制度採択事業	<p>●「平和のつどい」 令和元年7月27日（土） 講演：「平和を探して生きる～ある作家の体験から～」 講師：作家、東京大空襲・戦災資料センター名誉館長 早乙女 勝元さん 作文朗読：屋代・八幡・更級小学校児童の発表 参加人員 230人</p> <p>●「平和のつどい映画会（2回上映）」 令和元年7月20日（土） 上映映画：「戦争と青春」 参加人員 340人</p>



▲R1. 7/20 平和のつどい映画会
(戸倉創造館)

▲R1. 7/27 平和のつどい (更埴文化会館)

市では、女性の意見を市政や方針決定過程で反映させるため、各種審議会、委員会等に女性の積極的な登用を進めています。

○令和元年度の審議会・委員会等の女性参画率 抜粋（全体では 26.7% H31.4.1 現在）

審議会・委員会等名	委員総数	女性の数	参画率
男女共同参画計画審議会	12	6	50.0%
行政改革推進委員会	8	4	50.0%
防災会議	31	4	12.9%
差別撤廃人権擁護審議会	13	3	23.1%
環境審議会	10	1	10.0%
健康づくり推進協議会	13	5	38.5%
子ども・子育て会議	15	11	73.3%
農業委員会	15	0	0.0%
地域公共交通活性化協議会	23	3	13.0%
都市計画審議会	13	2	15.4%
景観審議会	13	2	15.4%
教育振興審議会	12	2	16.7%
社会教育委員会	10	5	50.0%

また、参画状況について市のホームページで公開し、積極的に情報公開をしました。

【女性の相談事業・啓発事業】

平成 30 年 4 月より女性相談員 2 名を配置して、配偶者や恋人、パートナーからの暴力(DV)、離婚や家庭不和など女性が抱えるさまざまな悩みや困りごとなどの相談支援を行っています。

相談者の人権を尊重し権利擁護を図る立場から、必要に応じ県女性相談センターや警察署などの関係機関との連携を図るとともに、専門の相談機関の紹介も行っています。

令和元年度の配偶者からの暴力による相談件数は延べ 35 件でした。

誰もが気軽に相談ができるよう、女性の相談窓口をホームページ等に掲載し周知しました。また、毎年、11 月 12 日～25 日の 2 週間を「女性に対する暴力をなくす運動」期間として、女性に対する差別的な言動や行為から守るための啓発活動や、セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントなどの発生を防止するために企業への啓発活動を実施しました。